

ダークワールド 守護神



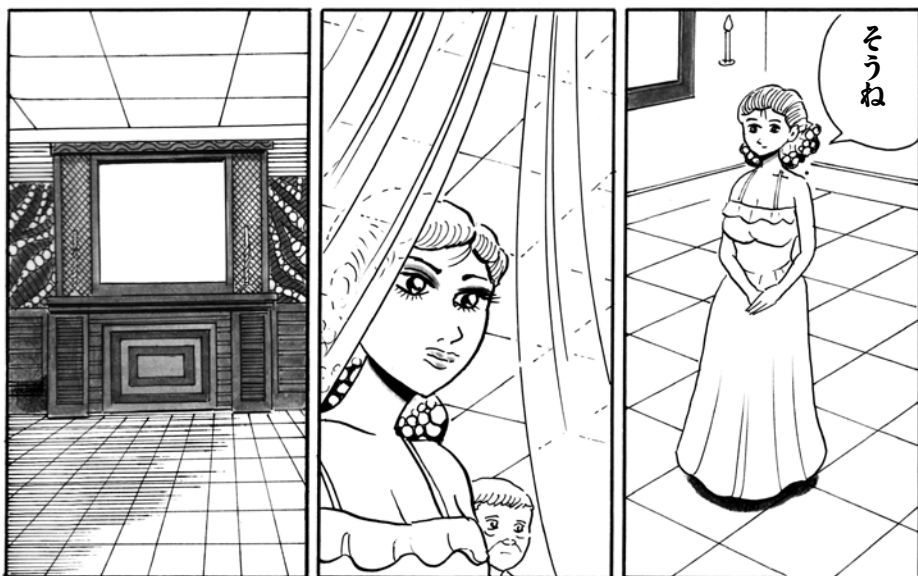
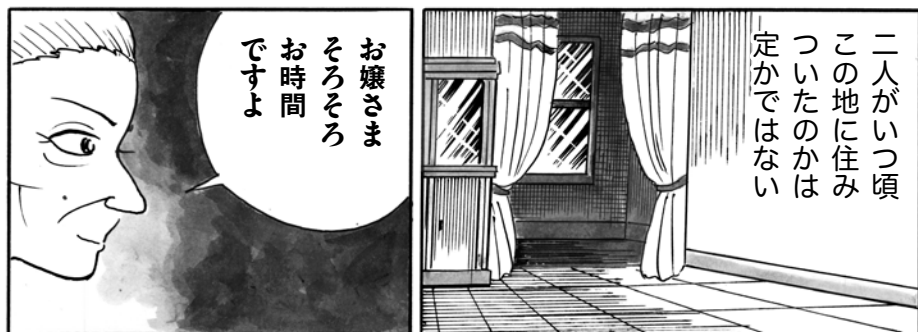
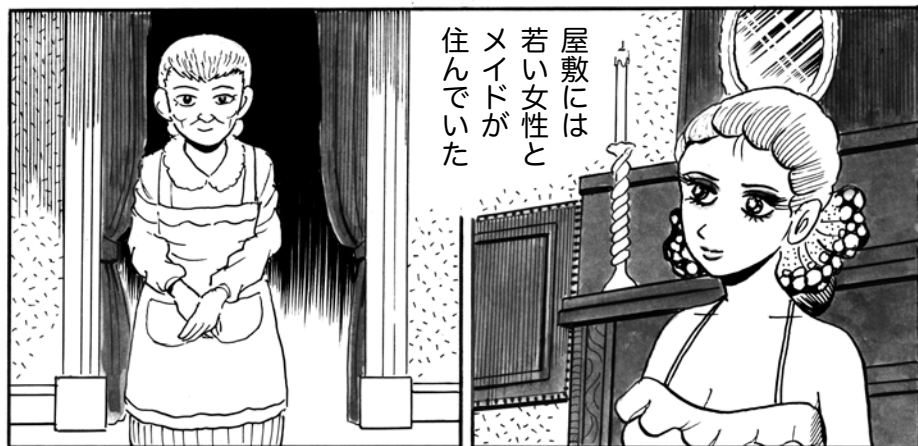
物語は
人里離れた
山奥で始まり
ました

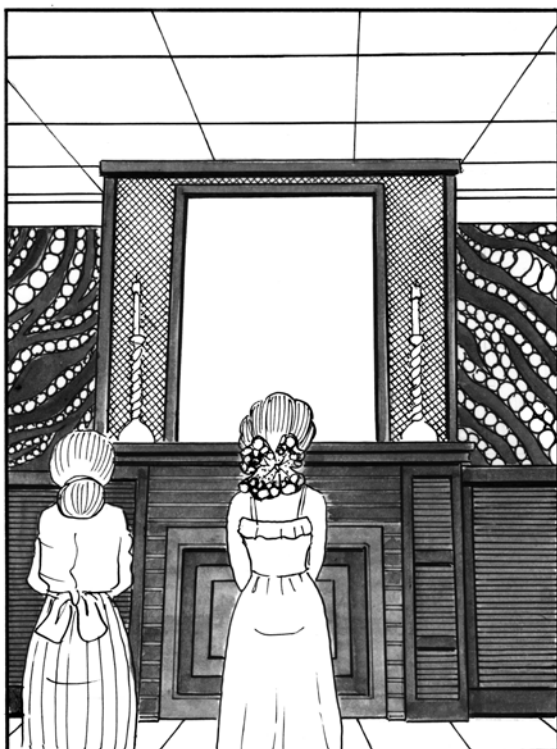
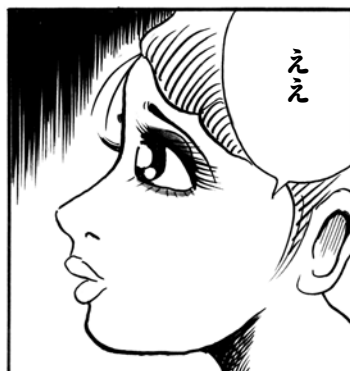
彼女の住居は
一度説明した
ぐらいでは
見つける事が
出来ない場所
にあった



森を抜けると
洋風の一軒家に
たどり着いた
のでした







私はお屋敷に
百年お仕えして
幸せでした

あとは予言どおり
今夜の十時に
この額の中に
現われるのを
待つだけ
ですね

時刻が十時に
なった時
額に異変が
起きた

それは
この家の
守護神だった
のです

翼をつけた
女性が現れた
のです

守護神はこの家の
大事なモノを引き
取りに現われたの
でした
百年後の今日

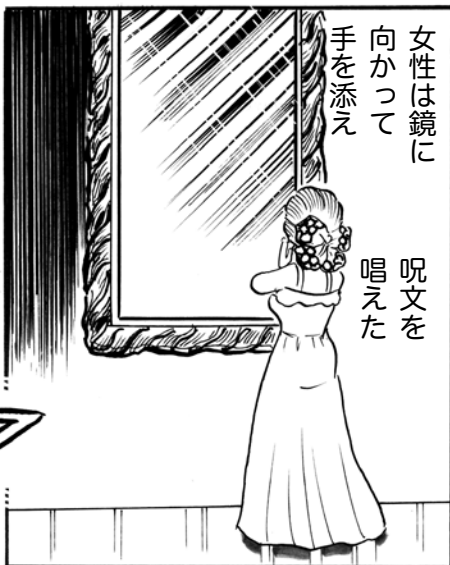


女性は鏡に

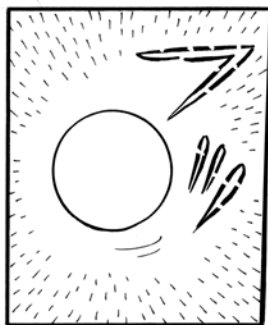
向かって

手を添え

呪文を
唱えた



すると鏡の中から
白い球体が出てきた
のでした



球体の中には
今までに亡く
なった先祖の
靈魂が入って
いたのです

